

2022年12月15日
国立大学法人東京藝術大学
京成電鉄株式会社

東京藝術大学による ～京成電鉄 旧博物館動物園駅VR～ 「デジタル ハクドウ駅」が公開されます！ 公開日：2022年12月16日(金)より

国立大学法人東京藝術大学(所在：東京都台東区、学長：日比野 克彦、以下「東京藝術大学」と京成電鉄(本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也)では、京成エリアの魅力向上や文化・観光の振興を図ることを目的とした、「連携・協力に関する包括協定」を2017年6月に締結しております(参考1)。

これに基づき、旧博物館動物園駅(参考2)の3D撮影に京成電鉄が協力し、その撮影データをもとに同大学が製作したVR空間、「デジタル ハクドウ駅」が公開されます。

旧博物館動物園駅は、2018年4月に鉄道施設として初の「東京都指定歴史的建造物」に選定されました。現在は、上野「文化の杜」新構想(参考3)において、上野エリアにおける新たな文化拠点としての役割を担っています。

「デジタル ハクドウ駅」は、東京藝術大学が進める「デジタル上野の杜」(参考4)と「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」(参考5)の連携プロジェクトの一環として、普段は立ち入ることのできない旧博物館動物園駅をまるごとデジタル 3D モデル化することで、VR 空間の中で地域の文化資源を介した新しいコミュニケーションプラットフォームの形成に寄与する研究と位置付けています。

京成電鉄では、今後も東京藝術大学をはじめとする沿線の教育機関等と連携を強化し、京成エリアの魅力向上および日本の芸術文化の振興を図り、地域社会の発展・活性化に寄与して参ります。

本件の概要は、次頁の通りです。



左：「デジタル ハクドウ駅」の外観、右：現状の旧博物館動物園駅の外観

「デジタル ハグドウ駅」について

■概 要

1. 東京藝術大学金田研究室での取り組み

東京藝術大学美術学部建築科金田研究室では、3Dスキャンやフォトグラメトリによるデジタルアーカイブを活用した表現を研究しています。これらの技術は測量や形状の測定などに使われてきましたが、最近ではモバイル端末にも導入されるなど、様々な分野で幅広く活用されています。金田研究室では、それらをオンラインで体験できるプラットフォームとして公開することで、デジタル空間上での学びや交流のかたちの可能性を模索しています。

2. 「デジタル ハグドウ駅」とは

2004年に廃駅となった「旧博物館動物園駅」をデジタルアーカイブしたもので、オンライン上で旧博物館動物園駅を体験することができます。一般公開されていないエリアにも入れるため、懐かしのペンギンの壁画やアナウサギも見ることができます。仕掛けも用意されておりますので、「デジタル ハグドウ駅」によるタイムトラベルをお楽しみください。

3. 企 画

東京藝術大学美術学部建築科
教授 金田充弘、非常勤講師 秋田亮平

東京藝術大学 社会連携センター
特任教授 伊藤達矢

4. 取材協力

京成電鉄株式会社

5. ワールド作成

東京藝術大学美術学部建築科 非常勤講師 秋田亮平

6. フォトグラメトリによる3Dモデル作成

株式会社ホロラボ 藤原龍、長坂匡幸

7. 3Dスキャン

クモノスコーポレーション株式会社

8. 計測補助

東京藝術大学 阿部文香、張遥、ホウ シトウ、関田重太郎

■入場方法

以下のリンクからご入場が可能です。

<https://dt.geidai.ac.jp/?p=1624> ※東京藝術大学のサイトにアクセスします。

■操作方法

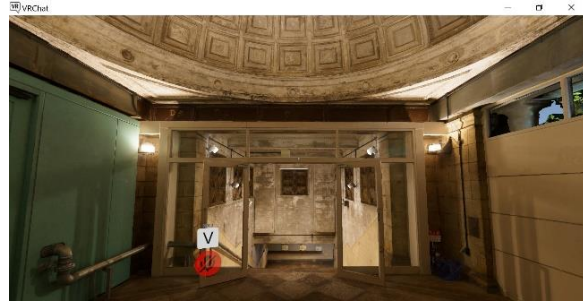
以下のリンク先に操作方法が掲載されております。

[Cluster 版のはじめかた](#)

[VRChat 版のはじめかた](#) ※東京藝術大学のサイトにアクセスします。



Cluster版



VRChat版

■お問い合わせ先

東京藝術大学美術学部建築科 金田研究室

担当 秋田亮平

E-mail digital.ueno.park@gmail.com

【参考1】 東京藝術大学と京成電鉄の包括協定について

2017年6月26日付で、東京藝術大学と京成電鉄では、文化・観光の振興等の分野で緊密な協力関係を築き、地域社会の発展、ひいては日本の芸術文化の振興を図ることを目的とし、京成エリアの魅力向上や文化・観光の振興に関して連携・協力を推進することに合意し、包括協定を締結しました。

https://www.keisei.co.jp/information/files/info/20170626_152210121824.pdf

【参考2】 旧博物館動物園駅について

詳細は旧博物館動物園駅ホームページにてご確認ください。

<https://www.keisei.co.jp/keisei/hakudou/index.php>

【参考3】 上野「文化の杜」について

上野地区に位置する文化・文教施設、行政、民間企業等で構成する『上野「文化の杜」新構想推進会議』が、2020年に向けた国際発信戦略として2015年7月にとりまとめたものです。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/bunkanomori/pdf/saishu_hokokusho.pdf

【参考4】 デジタル上野の杜について

東京藝術大学が2022年3月22日に公開した、文化・観光の拠点である上野公園を、リアルだけでなくオンラインでも体験、交流できるプラットフォームの実現を目指すプロジェクトで、令和3年度「東京都と大学との共同事業」によるものです。

<https://dt.geidai.ac.jp/?p=827>

【参考5】 「共生社会」をつくるアートコミュニケーション共創拠点について

NEXT SDGsとして「精神的貧困の解決」を掲げ、誰もが生涯を通じて、幸福で健康的な生活を送れる社会を目指す産学官民連携の研究拠点。特に超高齢化社会における「望まない孤独や社会的孤立」に取り組み、アートと福祉・医療・テクノロジーを融合させ、多様な人々と社会とを結ぶ「文化的処方」(社会的処方の援用)の開発を進めています。

<https://kyoso.geidai.ac.jp/>

以上